



月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

95, 10, 12 No. 4275

大失業時代を撃つ 11.5 全国 労働者集会の先頭に起とう！！

「大失業時代を撃つ」十一月・五全国労働者総決起集会」が、十一月五日、正午より、東京・日比谷野外音楽堂において開催されます。

新たな潮流の主体となろう！

われわれは、この十一月・五集会のスローガンである、「よみがえれ労働組合」とりもどそう団結！いまこそ反撃に立ち上がろう！たたかう労働運動の新しい潮流をつくらう！の真の主体となつて、第二二回定期大会で確立された闘う方針の下、労働運動の復権に向けた闘いを、全国の仲間が発しなければなりません！

大不況と大失業時代への突入！

戦後、長く続いてきた経済的繁栄の時代は終焉し、日本もいよいよ大不況と大失業の時代に突入しています。

今年の五月、日経連は「新時代の日本の経営」と題する報告を出しました。これは「二千万失業時代」に対応した、日本企業の在り方を提言したものです。その結論は、戦後の労使慣行の根幹をなしてきた、終身雇用制と年功序列賃金制の解体を通しての、大量首切りと低賃金の強制です。そのために、労働者の階級的意識と団結の解体、権利破壊を徹底的に押し進めるということです。

加速する新たな侵略戦争の動き

さらにいま不況の深刻化とともに、資本は生き残りをかけて

アジアへと殺到しています。いまや日本経済を支えているものは、アジアに立脚した新たな「大東亜共栄圏」だといっても過言ではありません。そしてこのアジア経済圏の確保をめぐる日本とアメリカは凄まじい激突をくり広げています。

失業問題の爆発は、反動と排外主義の洪水を呼び起こし、新たな侵略戦争の動きを激しく促進しようとしています。「読売憲法草案」に象徴される改憲の動きも、国民運動的に進められるまでに強まっています。大失業の時代とは、全ての労働者に、生活の破壊、権利の破壊、平和の破壊として襲いかかってやうとしているのです。

進められる「戦後五〇年」攻撃

「戦後五〇年」という大きな歴史の節目を迎え、新たな戦争国家体制を構築するための、「戦後五〇年」攻撃が進められています。

村山政権下で戦争責任を居直る「国会決議」がとおり、元従軍慰安婦への国家補償は「民間基金」運動へとすり替えられるなど、新たにアジアへと踏み出していくことへの策動は、いやがうえにも強まっています。

自治労中央は「民間基金」運動に取り組み、日教組中央は文部省との「歴史的和解」に踏み切りました。連合は反動化を強め、むしろ資本の攻撃に率先協力しています。もはや既成政党やこれらの組織にどんな幻想も持つことなどできません。

時代に抗するただひとつの道！

国鉄闘争・被災地労働者の闘い

この恐るべき時代に労働者が立ち向かう道は、ただひとつしかありません。

それは労働運動の原点に立ちかえることです。逆流に抗して労働者の団結をとりもどすことです。あたりまえの労働組合を甦らせることです。

すでにその指標となる闘いが、国鉄労働運動にはあるではありませんか！

国鉄分割・民営化という国家体制がその全体重をかけて行なつた、空前の組合破壊・首切り攻撃に抗して、国鉄清算事業団闘争を先頭に不屈に闘う国鉄労働者の闘いです。

さらに、「阪神大震災」の焼け跡から力強く、生活・仕事・住宅を取り戻す闘いに立ち上がった、被災地労働者の姿こそ、大失業時代における新たな労働運動の展望を大きく切り拓いているのです。

四本のスローガンを合言葉に！

昨年の九・一八集会から一二・一八集会で打ち出された、四本のスローガンがものとしようではありませんか！

- (1) 大失業時代に抗する労働運動を！
- (2) 反戦・反侵略・差別・排外主義とたたかう労働運動を！
- (3) 国鉄闘争を水路に、連絡路線と対決する労働運動を！
- (4) 村山自社連立政権打倒！たたかう労働者の党をつくらう！

このスローガンを、全ての労働者・労働組合の仲間達に訴え、その合言葉にしようではありませんか！

大失業と戦争の時代、それは労働者にとつて、何よりもたまたかなければ生きていけない時代です。たたかうためには団結が必要です。たたかう労働運動の新たな潮流が必要なのです。この闘いにこそ、われわれ労働者・労働組合の先頭に起たなければなりません！

全組合員は、「大失業時代を撃つ」十一月・五全国労働者総決起集会」に、組織の総力をあげて総決起しよう！



一一・五全国労働者総決起集会に集まろう！

日時 九五年十一月五日(日) 正午より

場所 東京・日比谷野外音楽堂

大失業時代に抗する労働運動の真価かけ大結集を！